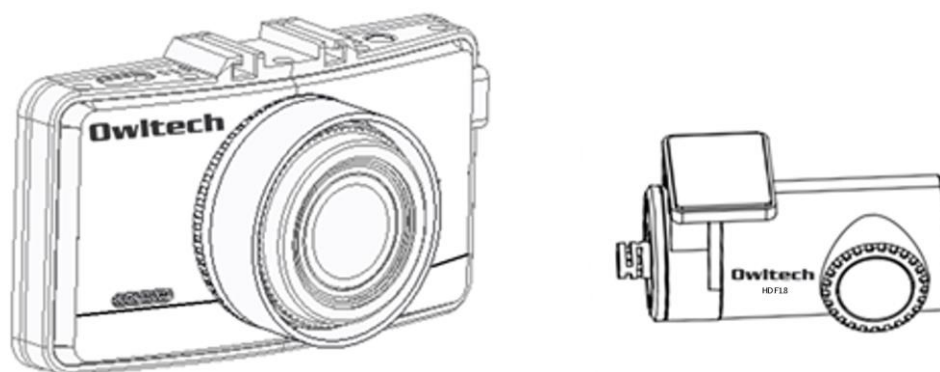


ドライブレコーダー OWL-DR802G-2C 取扱説明書 【保証書付】

このたびは弊社ドライブレコーダーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本説明書をご一読ください。また本説明書の末尾に保証書が付いておりますので、ご購入された年月日が特定できるレシートなどと共に、紛失しないよう大切に保管して下さい。



特徴

- 本製品はフロントカメラがフル HD (1920 x 1080p) F1.8 レンズ、リアカメラが HD (1280 x 720p) F1.8 レンズを搭載することで、夜でも明るくノイズの少ない鮮明な映像を記録することができます。
- みちびき対応の GPS 機能を搭載していますので付属の GPS アンテナを使用すると、日付・時刻の設定が不要となり、正確な日時で記録できます。また位置情報などの走行軌跡を残すこともできます。
- G センサーを搭載し、衝撃時の映像をマイクロ SD カードの緊急フォルダに保存します。
- WDR (ワイドダイナミックレンジ) 技術で、逆光やトンネル出入り口など明暗差の大きなシーンでも適正な露出で撮影できます。
- ドライブ中は音声録画をせず、事故時など衝撃を感知した時だけ音声録画を行う「プライバシーオート録音機能」搭載で、プライバシーを守りつつ肝心な事故時の音は逃しません。
- LED 信号機消滅問題対策済みです。日本全国どこでも安心してご使用いただけます。
- 地デジ放送妨害対策済みです。地デジ放送に影響を与えにくいノイズ対策を行っています。
- 録画開始を音でお知らせし、画面を見ずに録画開始がわかります。
- 動体検出機能で、エンジン停止後に電源を供給しメニュー設定をすることで駐車監視が可能です。
ドライブレコーダー本来の機能を追求し、必要機能を充実させつつメニューをシンプルにすることで操作性が向上しています。

⚠ もしも事故が発生した場合

事故の程度に関わらず事故発生時は記録されたデータが上書きされないように、必ずマイクロ SD カードを抜いて保管及び、データのバックアップを行ってください。マイクロ SD カードを抜き取る際は、必ず本製品の電源をオフの状態で行ってください。電源オンのまま抜き出すとデータ消失の恐れがあります。

はじめに

- 付属品をご確認ください。（準備ページの内容をご確認ください。）
- 本製品および本説明書は予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。最新の情報は弊社Webサイト（<https://www.owltech.co.jp>）を参照してください。本説明書に掲載している画面やイラスト・写真などは、実際の製品と異なる場合があります。
- 本説明書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不明の点や誤りなどお気づきのことがございましたら当社サポートセンターに連絡ください。
- 万一本製品使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、弊社では一切その責任を負いません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するマイクロSDカード内容の消失による損害および逸失利益等につきましては、弊社では一切その責任を負いません。
- 本製品を使用する前に必ず試し撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本説明書の一部または全部を無断で使用・複写・転載することはしないでください。
- 本説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。本説明書ではTM および®マークは明記しておりません。
- ご使用の前に「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

 警告	誤った取扱いをすると「人が死亡するまたは重傷を負うなどの可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると「人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。

	製品の取扱いにおいて注意を促す記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を禁止する記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を強制指示する記号です。

警告

- 濡れた手で本製品およびアダプタやコネクタに触れないでください。
- 本製品を使用中に発火、過剰な発熱、発煙、異臭などの異常が発生した場合、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店もしくは弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。
- 本製品を使用中に水や液体が入った場合は直ちにコード類を抜き使用を中止してください。
- 本製品の分解や改造は絶対に行わないでください。ショートして火災や感電、故障や事故の原因になることがあります。
- 車両への取り付けは、必ず本説明書手順に従って取り付けてください。誤って取り付けると、道路運送車両法違反となるばかりか交通事故やけがの原因となります。
- 運転者は走行中に本製品の操作をしたり、画面の注視をしたりしないでください。交通事故等の原因になります。マニュアル録画や設定変更などを行う際は、必ず安全な場所へ停車してから操作してください。
- 乳幼児の手の届く場所での使用や保管はしないでください。コードが首などに巻きつくことや小さな部品を誤飲するなど、事故や傷害の原因になります。特にマイクロSDカードの取扱いには十分ご注意ください。

注意

- 火気のそばでの使用や保管はしないでください。本製品の変形や故障の原因になります。

- コネクタやシガーソケットに汚れやほこりが付いている場合は、乾いた布でよく拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- コネクタやシガーソケットに無理に押し込まないでください。コネクタの破損やショートの原因となります。
- 本製品を無理に引っ張ったり、折り曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。また、強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。故障の原因になります。
- カメラ本体およびシガープラグコードは、エアバッグの妨げにならないように取り付けてください。
- 駐車時などエンジン停止（ACC＝オフ）時にシガーソケットに電源が供給される車で使用する場合は、エンジン停止（ACC＝オフ）時には必ずシガープラグを抜いてください。
- 本製品は日本国内での使用を目的として販売しており、日本国外でのご使用は保証対象外となります。
- 本製品付属のシガープラグコードは本製品専用です。弊社他製品・他社製品では使用しないでください。また弊社他製品・他社製品のシガープラグコードを本製品で使用しないでください。

使用上のご注意

- 本製品に水などの液体をかけたりしないでください。火災や発火、感電の原因になります。
- 本製品の端子などの金属部分に指で触れないでください。接触不良の原因になります。
- マイクロSDカードはマイクロSDカードスロットに水平に挿入してください。誤った向きに挿入すると、故障や破損の原因になります。
- マイクロSDカードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行ってください。マイクロSDカードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。
- マイクロSDカードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。また長時間記録を繰り返すと記録できない領域（＝不良セクタ）が増え記録できなくなることがあります。1カ月に1度を目安に定期的なフォーマットを行ってください。
- 本製品のマイクロSDカードのデータが消失しても、データの保証について弊社は一切責任を負いません。
- 本製品のシガープラグコードやリアカメラコードの被覆が破れたり、コネクタがぐらついたりするなどの異常がある場合には使用を中止してください。
- LCD（液晶）画面は、画面の一部にドット抜け（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）が見えることがあります。これらは、LCDの特性によるものであり、故障ではありません。
- コネクタに汚れやほこりが付いた場合は、乾いた布で拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に対する補償や、接続した機器などに対する保証は一切いたしかねます。
- 製品の仕様、デザイン、および本説明書の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。
- 本製品はすべての状況において映像を記録することを保証したものではありません。
- 本製品の故障や本製品使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。それにより発生する損害について弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の近くにGPS機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- 地デジ等のテレビのアンテナやAM・FMラジオのアンテナの近くに設置しないでください。電波の受信に影響を与える可能性があります。
- 本製品をいたずらなどの本来の目的以外で使用すると個人情報保護法に抵触する恐れやプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。これらについて弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の取り付けによる車両の変色、変形については弊社では一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内専用です。海外では使用しないでください。

- ドライブレコーダーを適切にご使用いただくために、1日あたり2時間以上のご使用を推奨します。不十分な充電状態から充放電を繰り返すとバッテリーの劣化が早まり、下記の不具合が発生する可能性があります。
 - ・ バッテリー寿命が短くなる
 - ・ ビデオファイルが正常に保存されなくなります。
- ※注意事項：短時間の繰り返し使用はお控えください。
- 位置測位に関して、受信環境や機器の状態により、位置情報や時刻に誤差が出る場合があります。
 - 金属コーティング等の特殊加工が施されたガラス面の近くに設置した場合、衛星からの電波受信に影響がある場合があります。

内容

特徴	1
はじめに	2
安全上のご注意（必ずお守りください）	2
使用上のご注意	3
1 準備	6
1.1 パッケージ内容	6
1.2 各部の名称	7
1.3 各部の説明	8
1.4 マイクロ SD カードの取付け／取外し ...	9
1.5 フロントカメラの取付け	10
1.6 リアカメラの取付け	12
1.7 GPS アンテナの取付け	13
1.8 リアカメラ、GPS アンテナ、シガーブ ラグコードの接続と配線	13
1.9 電源と内蔵バッテリーについて	14
1.10 電源のオン／オフ	15
1.11 動作モード	15
1.12 日時の設定	16
1.13 マイクロ SD カードのフォーマット	17
2 録画する	18
2.1 録画について	18
2.2 録画時間の目安	18
2.3 リアカメラの画面表示について	18
2.4 動画モード画面表示	19
2.5 常時録画	20
2.6 緊急録画（衝撃検出時）	20
2.7 保護録画（手動）	21
2.8 マニュアル録画	21
2.9 駐車監視（動体検出録画）	21
2.10 プライバシーオート録音	22
3 再生する	23
3.1 本製品で再生する	23
3.2 再生したいフォルダを変更する	23
3.3 再生モード画面表示	24

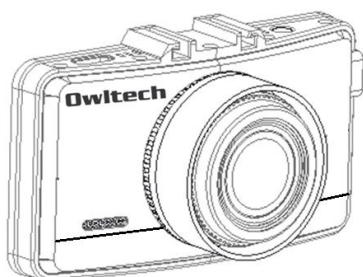
3.4 パソコンでの再生（ビューアソフト での再生）	25
4 削除する／保護する	27
4.1 ファイルの削除	27
4.2 ファイルの保護／保護解除	28
5 設定を変更する	29
5.1 動画モードメニュー	29
5.2 共通設定メニュー	31
5.3 言語メニュー	34
6 キー割当て	35
7 故障かなと思ったら	36
7.1 電源がオンにならない	36
7.2 録画を開始しない	36
7.3 キーが反応しない、録画が勝手に停止 する等、動作がおかしい	36
7.4 メモリーエラーが出る	36
7.5 常時録画で映像が保存されていない	36
7.6 録画した映像がぼやけている	36
7.7 信号待ちのときに常時録画が停止し てしまう	36
7.8 地上デジタル放送に影響がでる	37
7.9 パソコンで映像が再生できない。また はスムーズに再生できない	37
7.10 日時がリセットされてしまう	37
7.11 LCD 画面がしばらくすると消えてし まう	37
7.12 リアカメラが表示されない	37
仕様	39

1 準備

1.1 パッケージ内容

- フロントカメラ
- リアカメラ（コード長：約 8m）
- ブラケット
- シガープラグコード（コード長：約 4m）
- GPS アンテナ（コード長：約 1.8m）
- マイクロ SD カード（16GB）（SD カード変換アダプタ付属）
- 取扱説明書兼保証書（本説明書）

※粘着テープ等の消耗品は保証対象外となります。



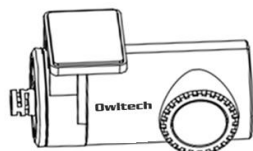
フロントカメラ



ブラケット



GPSアンテナ



リアカメラ



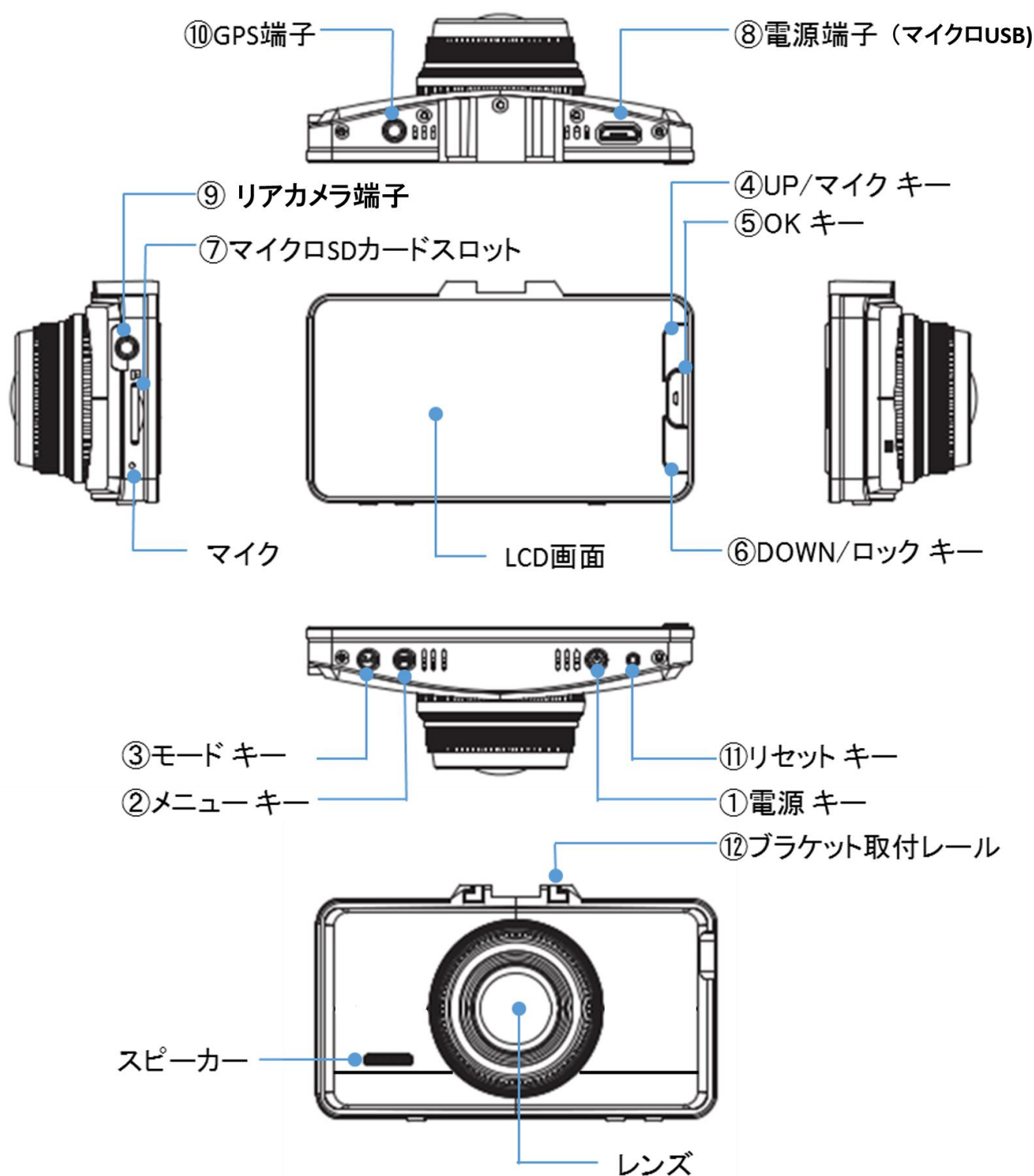
シガープラグコード



16GBマイクロSDカード
（SDカード変換アダプタ付属）

⚠ マイクロ SD カードは SDHC/SDXC 規格に適合した高速 SD カードを使用してください。
【容量 128GB まで：Class10 以上】

1.2 各部の名称



1.3 各部の説明

(1) キーボタン

番号	名称	説明
①	電源 キー	電源オフの状態で数秒長押しすると本製品の電源がオンします。電源オンの状態で3秒以上の長押しをすると電源がオフします。電源が入っているときに押すとLCD画面をオフすることができます。いずれかのキーを押すと復帰します。
②	メニュー キー	録画停止状態で「録画モード」もしくは「再生モード」のときに押すとメニューが表示されます。
③	モード キー	録画停止中に押すと、「動画モード」と「再生モード」の切り替えを行います。
④	UP/マイク キー	動画モード画面で押すと、音声記録をオン、オフ、オートに変更することができます。メニュー設定では項目の選択を行います。「再生モード」ではファイルの選択を行います。LCD画面が表示されている時に長押しすると、リアカメラの表示を変更（位置変更、表示/非表示）することができます。
⑤	OK キー	「動画モード」では録画の開始/停止を行います。「再生モード」では動画の再生/一時停止を行います。メニュー設定では選択項目を決定します。
⑥	DOWN/ロック キー	メニュー設定では項目の選択を行います。「再生モード」ではファイルの選択を行います。録画中に押すと、録画中のファイルを緊急ファイルとしてEventフォルダに保存します。もう一度押すと保護解除になります。

(2) 外部端子

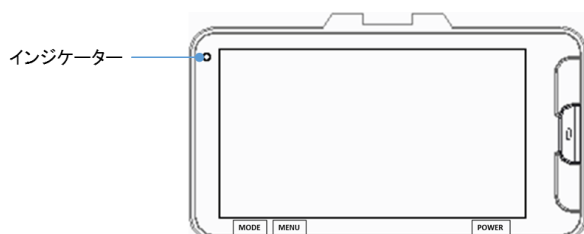
番号	名称	説明
⑦	マイクロSDカード スロット	マイクロSDカード用のスロットです。本説明書の内容に従い、正しく挿入してください。
⑧	電源端子 (マイクロUSB)	電源端子です。付属のシガープラグコードを接続してください。
⑨	リアカメラ端子 (ピンジャックφ2.5)	付属のリアカメラを接続してください。
⑩	GPS 端子 (ピンジャックφ2.5)	付属のGPSアンテナを接続してください。
⑪	リセット キー ※1	本製品が応答しないなど動作異常が起こった場合は、リセットしてください。リセットする際は、爪楊枝などで「リセット」キーを軽く押してください。「リセット」キーを押した後は電源を入れ直してください。
⑫	ブラケット取付 レール	付属のブラケットを取り付けます。本説明書に従い、正しく装着してください。

⊘ ※1：誤ってマイクなど他の穴に挿入しないでください。故障の原因になります。

(3) インジケータ

車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると、自動的に本製品の電源が入り録画を開始します。

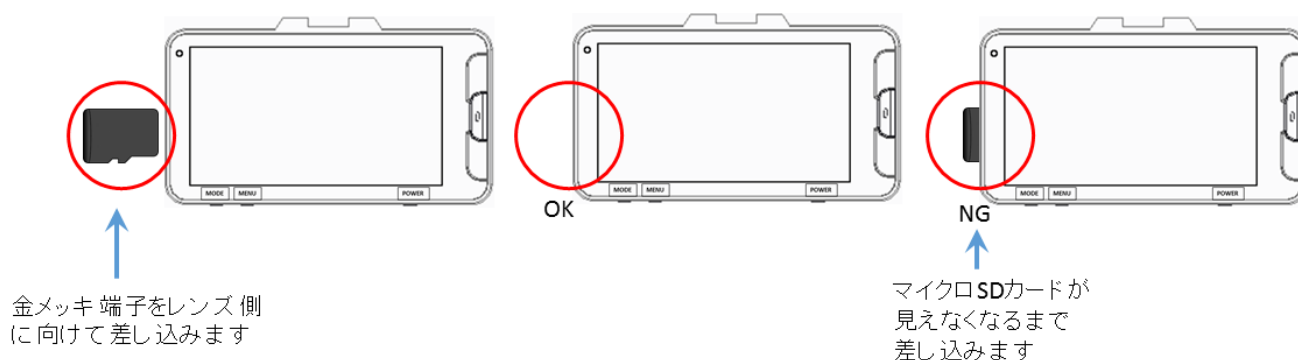
状態	説明
赤と緑と交互点滅	録画中であり、バッテリーは充電中です。
赤の点滅	録画中であり、バッテリーはフル充電です。
赤の点灯	電源がオンであり、録画は停止中です。
緑の点灯	電源がオフであり、バッテリーは充電中です。
消灯	電源がオフであり、バッテリーはフル充電です。



1.4 マイクロ SD カードの取付け／取外し

Ⓢ マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ずフロントカメラ本体の電源をオフにしてから行ってください。マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。

- (1) マイクロ SD カードの金メッキ端子側を図の向きに合わせて、マイクロ SD カードスロットにまっすぐ挿入してください。マイクロ SD カードがフロントカメラ本体よりはみ出している場合は完全に挿入されていません。再度挿入し直してください。
- (2) 取り外す場合は、電源がオフであることを確認し、マイクロ SD カードを更に押し込んでください。マイクロ SD カードが少しはみ出してくるので、静かに引き抜いてください。



- ⚠ マイクロ SD カードを押し込むと勢いよく飛び出す場合がありますので、紛失しないようにご注意ください。また、金メッキ端子を逆向きに挿入しないようご注意ください。
- ⚠ マイクロ SD カードは SDHC/SDXC 規格に適合した高速 SD カードを使用してください。
【容量 128GB まで : Class10 以上】
- ⚠ 初めて使用するマイクロ SD カードの場合は、最初に本製品でフォーマットを行ってください。（17 ページ参照）

⚠ 推奨メンテナンス

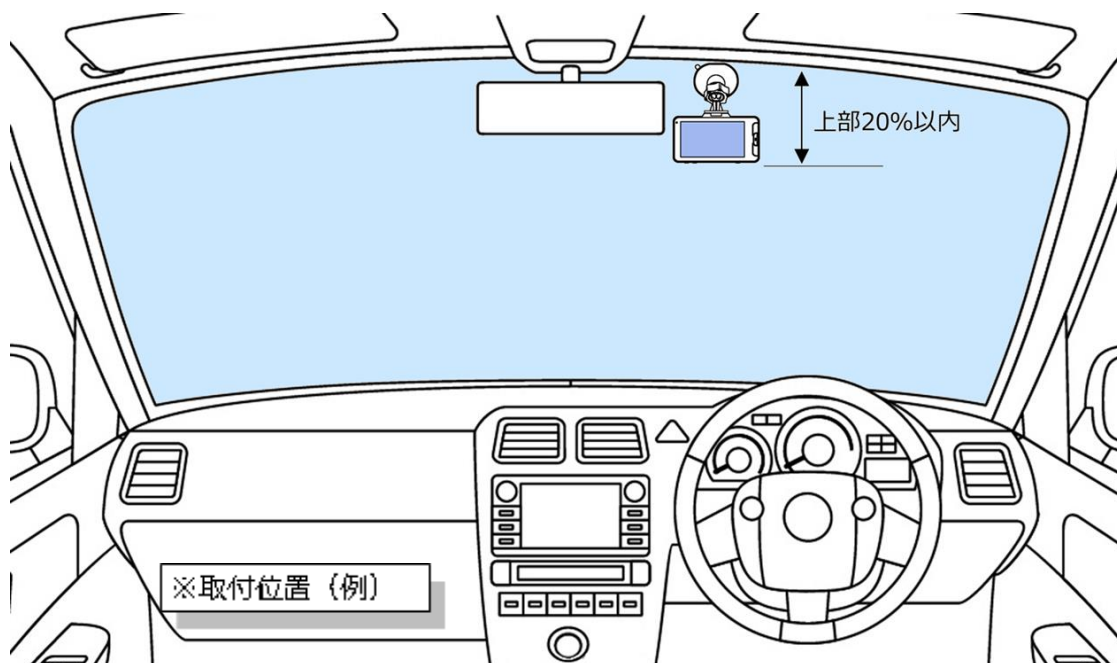
マイクロ SD カードは消耗品です。長時間記録を繰り返すと記録できない領域（＝不良セクタ）が増え記録できなくなることがあります。使用頻度に合わせて、最低 1 ヶ月に 1 度を目安に定期的なフォーマットや正常に録画保存が行えるか点検を行ってください。使用頻度が高い場合は、定期的に新品と交換してください。

1.5 フロントカメラの取付け

(1) 取付け位置

⚠ 本製品はフロントガラスに取り付けることを想定しています。安全基準に適合させるために必ず下記の注意事項を厳守の上、取り付けを行ってください。

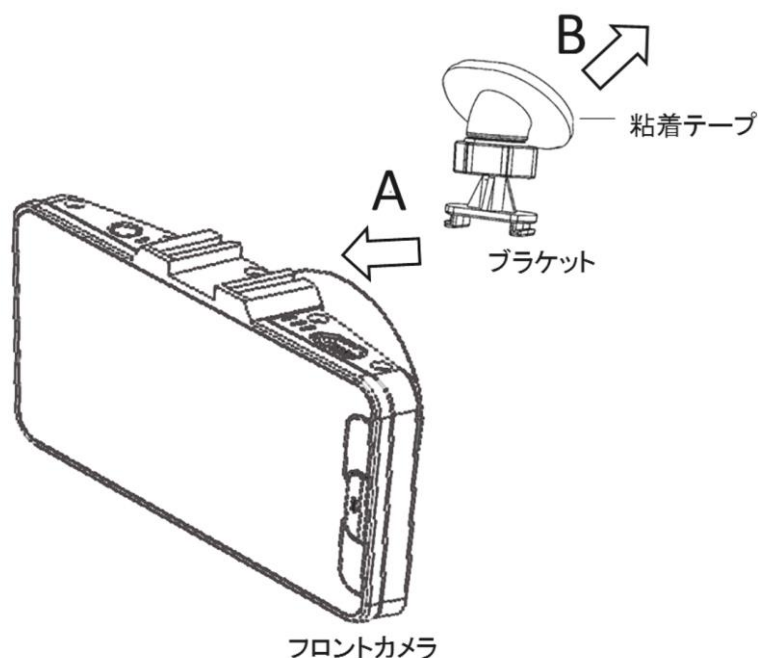
- フロントガラスへの取り付けに関しては、道路運送車両法に基づき設置場所がフロントガラス上部より 20%以内に制限されています。視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ワイパーの可動範囲内に取り付けてください。可動範囲外に取り付けると、降雨時・降雪時に水滴・雪・汚れ等で映像が見つづらくなります。
- エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- 地デジ等のテレビアンテナや AM・FM ラジオのアンテナの近くに設置しないでください。電波の受信に影響を及ぼす場合があります。



- ⚠ 取り付け前に、電源をオンにし、動作確認を行うことを推奨いたします。
- ⚠ フロントカメラ本体にブラケットを取り付ける際は、外れないように奥まで差し込んでください。取付けが不完全だと落下する恐れがあります。

(2) 取付け方法

- 事前に取り付け位置を決め、取付け場所のフロントガラスの油脂や汚れをクリーナーなどで取り除いてください。（油分や、汚れが付着したまま取り付けると取り付け強度が低下します。）
- レンズには保護フィルムが貼られています。使用時には剥がしてください。またレンズに手を触れないでください。万が一汚れた場合は柔らかい布等で拭き取ってください。
- フロントカメラ本体にブラケットを取り付けてください。（A）
- 粘着テープの保護シートを外し、フロントガラスと粘着テープの間に気泡が入らないようにしっかりと押し付けながら貼り付けてください。（B）
- 本体の角度を微調整し、ブラケットのナットをしっかりと締めて固定してください。



(3) 取外し方法

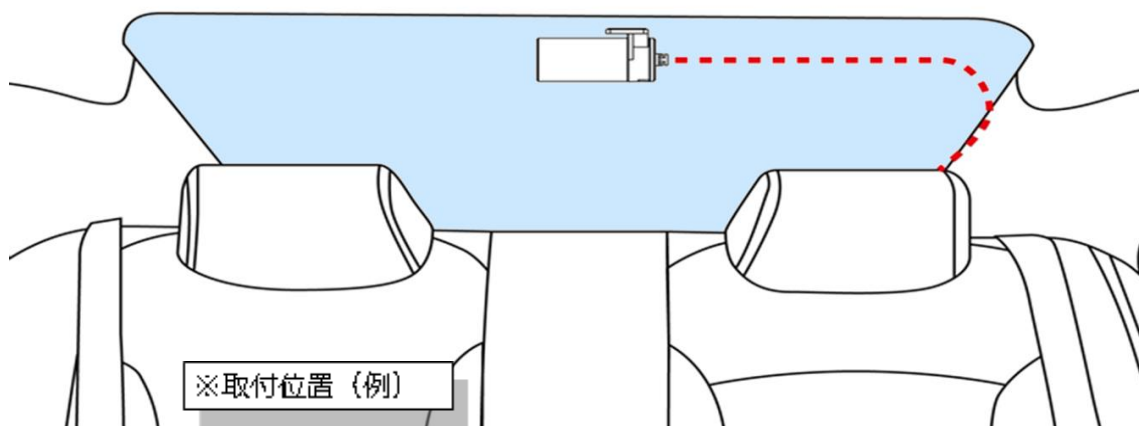
- ブラケットを抑えてフロントカメラ本体を手前にスライドさせるように引くとフロントカメラ本体を取り外すことができます。

1.6 リアカメラの取付け

(1) 取付け位置

⚠ 本製品はリアガラスの内側に取り付けることを想定しています。安全にお使いいただくために必ず下記の注意事項を守って、取り付けを行ってください。

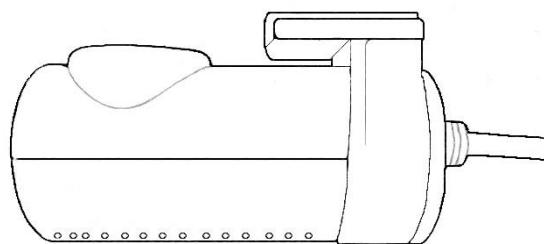
- ワイパーの可動範囲内に取り付けてください。（リアワイパー装着車）可動範囲外に取り付けると、降雨時・降雪時に水滴・雪・汚れ等で映像が見づらくなります。
- エアバッグの動作や視界の妨げにならないように取り付けてください。
- テレビアンテナや AM・FM ラジオアンテナの近くに設置しないでください。電波の受信に影響を与える場合があります。
- リアガラスの熱線を避けて設置してください。



⚠ 取付け前に動作確認を行うことを推奨いたします。

(2) 取付け方法

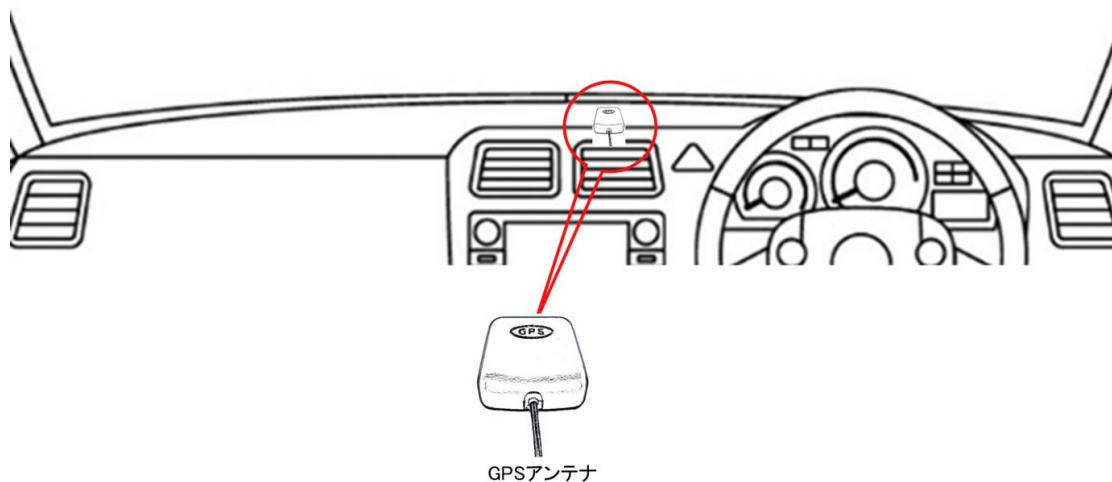
- 事前に取り付け位置を決め、取付け場所のリアガラスの油脂や汚れをクリーナーなどで取り除いてください。（油分や、汚れが付着したまま取り付けると取り付け強度が低下します。）
- レンズには保護フィルムが貼られています。使用時には剥がしてください。またレンズに手を触れないでください。万が一汚れた場合は柔らかい布等で拭き取ってください。
- 粘着テープの保護シートを外し、リアガラスと粘着テープの間に気泡が入らないようにしっかりと押し付けながら貼り付けてください。



リアカメラは車内から見て、左図の様にコードが右になる方向で、熱線の上にならない位置に出来るだけ水平に設置してください。コードが左になる方向でご使用の場合は、リア映像の上下反転機能をオンにしてください。(30 ページ参照)

1.7 GPS アンテナの取付け

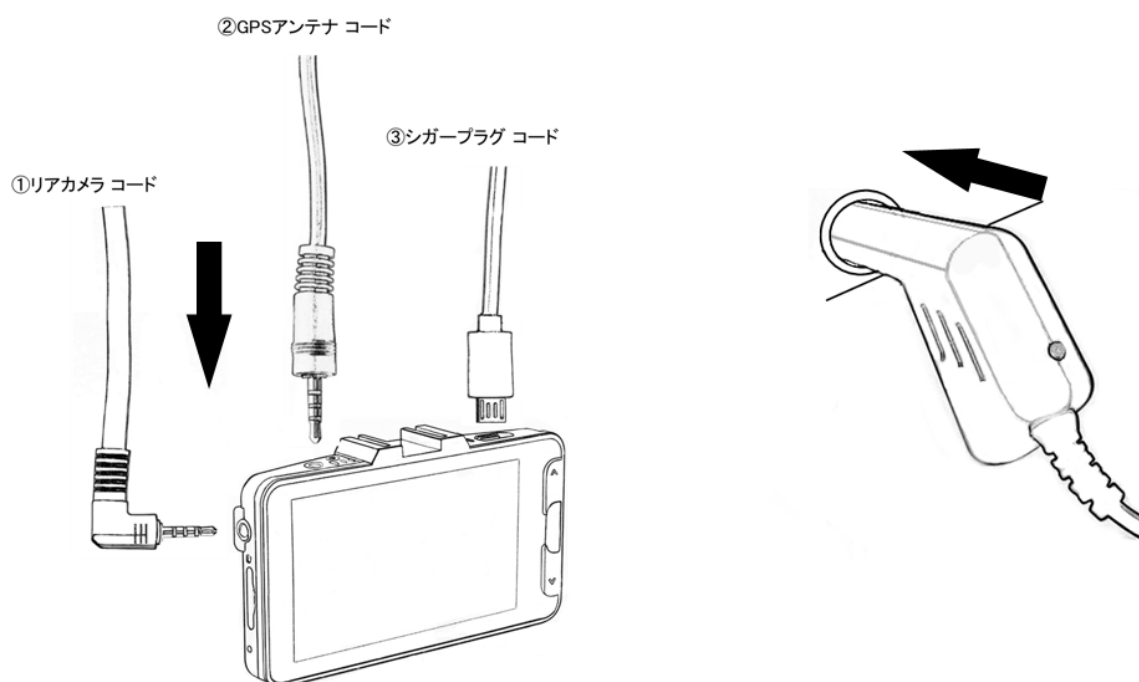
- (1) コードを運転の妨げにならないように配線してください。GPS アンテナ部は粘着シートの保護シールを剥がして下図のようにダッシュボード上など、GPS が受信しやすい位置に貼り付けてください。



- ⚠ エアバッグの動作の妨げや、運転の妨げにならないように十分注意して配線してください。
- ⚠ コードを配線する前に、本製品の動作確認を行うことを推奨いたします。

1.8 リアカメラ、GPS アンテナ、シガープラグコードの接続と配線

- (1) 付属のリアカメラ、GPS アンテナ、シガープラグコードの各コードを下図に従ってフロントカメラに接続してください。
- (2) シガープラグコードのプラグを、車のシガーソケットまたはアクセサリソケットに取り付けてください。



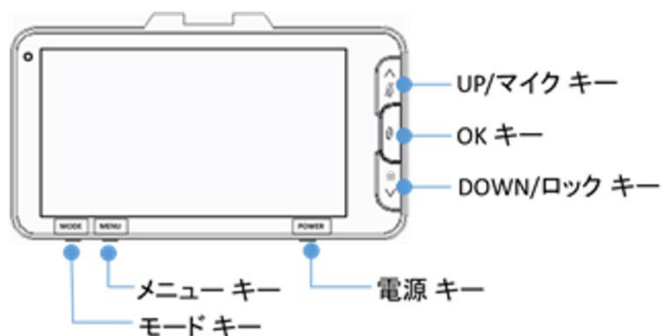
- ⚠ シガープラグコードは必ず本製品の付属品を使用してください。付属品以外を使用すると故障の原因になることがあります。コードは運転の妨げにならないように配線してください。
- ⚠ エアバッグの動作の妨げや、運転の妨げにならないように十分注意して配線してください。
- ⚠ リアカメラコードと GPS アンテナのコードのプラグ径は同じ大きさですので、挿し間違えないように十分ご注意ください。
- ⚠ コードを配線する前に、本製品の動作確認を行うことを推奨いたします。

1.9 電源と内蔵バッテリーについて

- (1) 車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると、自動的に本製品の電源が入り録画を開始します。同時にフロントカメラ本体に内蔵のバッテリーに充電が行われ、約 2 時間で満充電になります。
 - (2) 録画中に車両のエンジンを停止（ACC=オフ）すると、自動的に録画を終了し、本製品の電源がオフします。
- ⊙ 駐車時などエンジン停止（ACC=オフ）時にシガーソケットに電源が供給される車で使用する場合は、エンジン停止（ACC=オフ）時には必ずシガープラグコードを抜いてください。
- ⚠ ドライブレコーダーを適切にご使用いただくために、1 日あたり 2 時間以上のご使用を推奨します。不十分な充電状態から充放電を繰り返すとバッテリーの劣化が早まり、下記の不具合が発生する可能性があります。
- ・ バッテリー寿命が短くなる
 - ・ ビデオファイルが正常に保存されなくなります。
- ※注意事項：短時間の繰り返し使用はお控えください。

1.10 電源のオン/オフ

- (1) 車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると、自動的に本製品の電源がオンになり録画を開始します。
- (2) 「電源」キーを長押しする（3 秒以上押し続ける）と電源がオフします。
- (3) 再度、「電源」キーを長押しすると電源がオンします。



- ⚠ 本製品を初めて使用する場合は内蔵バッテリーが充電されていない可能性があるため、使用時に約 2 時間程度充電してください。充電されていない状態で電源をオフにすると、日付と時刻が初期状態に戻る場合があります。
- ⚠ マイクロ SD カードが入っていない場合は、録画を行いません。

1.11 動作モード

本製品は「動画モード」、「再生モード」の 2 つの動作モードがあります。

録画停止中に「モード」キーを押す度に切り替わります。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）

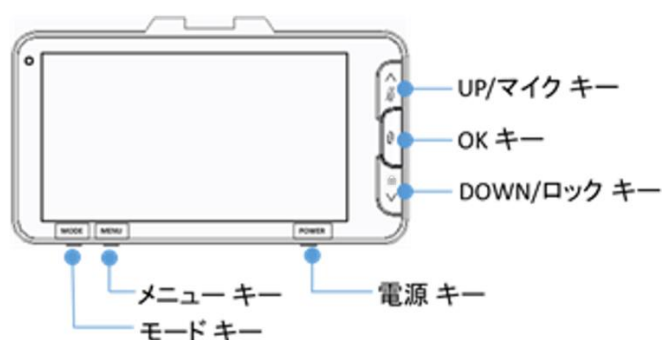


1.12 日時の設定

日時は、GPS アンテナが接続されていれば自動設定されるため手動設定の必要はありませんが、GPS の電波が届きにくい場所では下記手順に従って設定を行ってください。

- (1) 録画を停止して「メニュー」キーを押すと「動画モードメニュー」が表示されます。（録画の停止/開始は「OK」キーを押してください。）
- (2) 「DOWN/ロック」キーを押すと「共通設定」に赤枠が移動します。
- (3) 「OK」キーを押すと共通設定メニューが表示されます。「UP/マイク」キーと「DOWN/ロック」キーで「日付/時刻」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (4) 年（西暦）を「UP/マイク」キーと「DOWN/ロック」キーで合わせ、「OK」キーで決定します。
- (5) 「OK」キーを押す毎に 年→月→日→時→分→秒 に移動しますので、年と同様に月日と現在時刻を合わせ、最下段の「OK」へ移動して「OK」キーを押すと、「共通設定メニュー」に戻ります。
- (6) 「メニュー」キーを押すと「共通設定メニュー」が終了します。

[各設定キー]



[共通設定]



[日付/時刻]

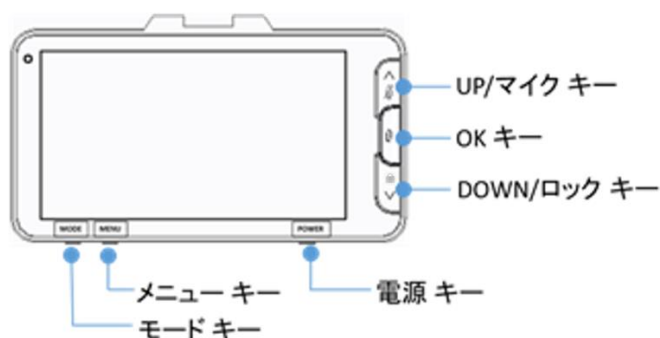


⚠ 長時間電源オフの状態が続くと内蔵バッテリーが放電状態になり、日時設定が初期状態に戻ることがあります。その際は再度、日時設定を行ってください。

1.13 マイクロ SD カードのフォーマット

マイクロ SD カードを初めて使用する場合は、フォーマットが必要です。以下の手順に従って本製品上でフォーマットを行ってください。また品質を維持するために定期的にフォーマットを行ってください。フォーマットを行うと全てのデータは削除されますのでご注意ください。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すとメニューが表示されます。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）
- (2) 「DOWN/ロック」キーを押すと「共通設定」に赤枠が移動します。
- (3) 「OK」キーを押すと共通設定メニューが表示されます。「UP/マイク」キーか「DOWN/ロック」キーで「SD 初期化」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (4) 「UP/マイク」キーと「DOWN/ロック」キーで「はい」を選択し、「OK」キーを押すとフォーマットが開始されます。「SD カードをフォーマット中です」に続いて「フォーマットが完了しました」と表示されてメニューに戻れば完了です。
- (5) 「メニュー」キーを押すとメニューを終了します。



[共通設定]

[SD 初期化]



- ⚠ マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行ってください。マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。
- ⚠ マイクロ SD カードは消耗品です。長時間記録を繰り返すと記録できない領域（＝不良セクタ）が増え記録できなくなることがあります。使用頻度に合わせ、最低 1 カ月に 1 度を目安に定期的なフォーマットや正常に録画保存が行えるか点検を行ってください。使用頻度が高い場合は、定期的に新品と交換してください。

2 録画する

2.1 録画について

本製品には 5 つの録画機能があります。

項目	説明
常時録画	エンジン始動（ACC=オン）の約 8 秒後から自動的に録画を開始し、エンジン停止（ACC=オフ）後までの映像を常時録画します。
緊急録画 （衝撃検出時）	常時録画やマニュアル録画中に、内蔵の G センサーが衝撃を検出すると、LCD 画面上にカギ アイコン  が表示され、緊急ファイルとして記録します。（マイクロ SD カードの Event フォルダに保存されます。）
保護録画 （手動）	録画中に「DOWN/ロック」キーを押すと、LCD 画面上にカギ アイコン  が表示され、緊急ファイルとして記録します。
マニュアル録画	録画停止中に「OK」キーを押すと録画を開始し、録画中に「OK」キーを押すと録画を停止します。
駐車監視 ^{※2} （動体検出録画）	フロントカメラの画面範囲内で動体の移動を検出すると、録画が開始され、設定時間動体を検出されなければ自動的に録画を停止します。

⚠ ※2：本機能はフロントカメラ本体の電源がオンの時、メニューの「動体検出」をオンにすることで検出機能が働きます。駐車中の監視録画にご使用ください。

2.2 録画時間の目安

マイクロ SD カードの容量に対する録画時間の目安を示します。

	記録サイズ	16GB	32GB	64GB	128GB
フロント	1920 x 1080p	約 60 分	約 120 分	約 280 分	約 560 分
リア	1280 x 720p				

⚠ 記録時間は目安であり保証するものではありません。上記時間の約半分を超えると古いファイルから上書きし、ループ録画を行います。

2.3 リアカメラの画面表示について

リアカメラの画面表示位置は、「UP/マイク」キーの長押しで切り替えることができます。

- (1) 初期設定ではリアカメラの映像は、左上に画面全体の 1/4 の大きさで表示されます。
- (2) 電源がオンで録画中（停止中）のときに、「UP/マイク」キーを 3 秒以上長押しする度に、「左上にオーバーレイ」→「フロントカメラのみ」→「リアカメラのみ」に切り替わります。



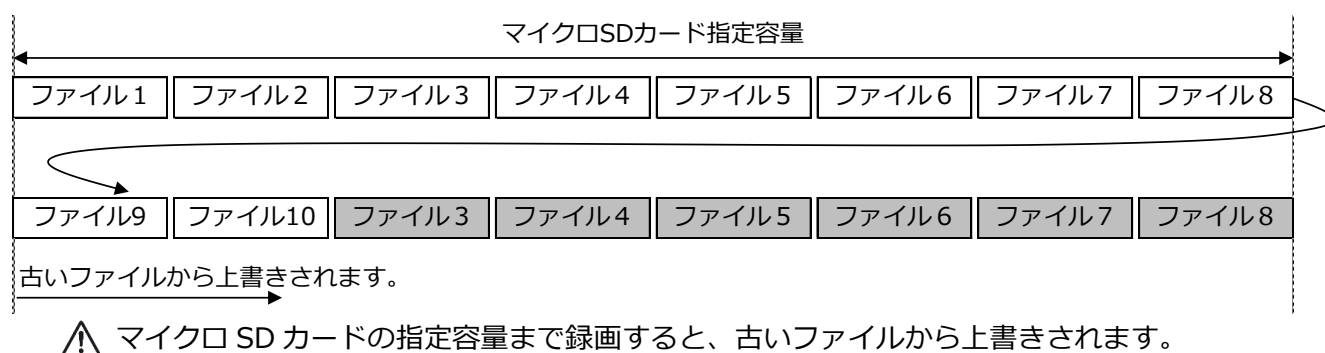
2.4 動画モード画面表示



番号	表示名	説明
①	モード アイコン	「動画モード」であることを示します。
②	録画中 アイコン	録画中は赤丸が点滅します。
③	カギ アイコン	録画中のファイルが保護されていることを示します。
④	解像度表示	撮影時のフロントカメラの解像度を表示します。
⑤	GPS アイコン	GPS の受信状態を示します。  受信良好  受信不良 ※ GPS アンテナが接続されていない場合は表示されません。
⑥	マイク アイコン	録音の設定状態を表示しています。  録音がオフの状態です。  録音がオンの状態です。  録音がオートの状態です。
⑦	バッテリー アイコン	 5V が供給されていることを表しています。  バッテリーで動作中であり、残量が十分にあることを表しています。  バッテリーで動作中であり、残量が 50%程度であることを表しています。  バッテリーで動作中であり、残量が少ないことを表しています。
⑧	動体検出 アイコン	動体検出が設定されていることを表しています。
⑨	日付・時刻表示	現在の日付と時刻を表示します。
⑩	録画経過時間（空き容量）	録画の経過時間を表示します。録画停止時はマイクロ SD カードの空き容量を録画可能時間として表示します。

2.5 常時録画

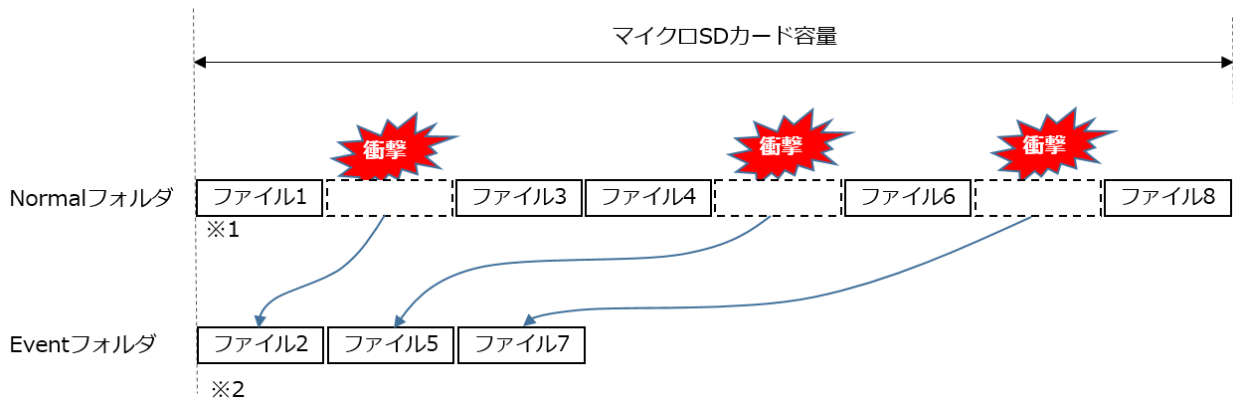
- (1) 車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると本製品がオンになり、約 8 秒後に自動的に録画を開始し、エンジン停止（ACC=オフ）後まで、マイクロ SD カードに常時録画します。録画開始時には録画開始を音でお知らせします。
- (2) 録画は、あらかじめ設定した録画単位で 1 ファイル毎に Normal フォルダに記録されます。録画したファイルがマイクロ SD カードの指定容量に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。ループ録画時間は「動画モード」のメニューで設定できます。（30 ページ参照）



2.6 緊急録画（衝撃検出時）

- (1) 常時録画中にフロントカメラ本体に衝撃が加わり、内蔵の G センサーが検出すると、LCD 画面上にカギ アイコンが表示されます。
- (2) カギ アイコンが表示された状態で 1 ファイル録画を完了すると、そのファイルは緊急ファイルとして緊急（Event）フォルダに記録され、その後の常時録画（緊急時以外の録画）では上書きされなくなります。
- (3) 緊急フォルダのファイルがマイクロ SD カードの指定容量に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。ファイルを上書きしたくない場合は「再生モード」のメニューで個々のファイルを「保護」設定してください。また、こまめにパソコンなどへバックアップを行うことをお勧めします。フロントカメラ本体でのファイル削除の方法は『4 削除する／保護する』（27 ページ）を参照してください。
- (4) G センサーの感度は 3 段階から選択できます。動画モードメニューで設定してください。

- ⚠ 「再生モード」のメニューで「保護」設定したファイルはカギ アイコンが表示され、上書きされませんが、緊急ファイルが多くなりマイクロ SD カードの空き容量が少なくなると「フォーマットもしくは交換してください」と表示されます。この時はパソコンなどへバックアップをしてください。
- ⚠ 緊急（Event）フォルダ内のファイルを表示させるには、「再生モード」のメニュー設定で、再生フォルダを「緊急」に変更してください。詳細は『再生モード画面表示』を参照してください。



※1 Normalフォルダ内でファイルが一杯になったら、フォルダ内の古いファイルから上書きされます。保護ファイルに設定されたファイルは上書きされません。

※2 Eventフォルダ内でファイルが一杯になったら、フォルダ内の古いファイルから上書きされます。保護ファイルに設定されたファイルは上書きされません。

⚠ 図はイメージです。ファイルサイズやファイル数は実際のものと異なります。

2.7 保護録画（手動）

- (1) 録画中に「DOWN/ロック」キーを押すと LCD 画面上にカギ アイコン  が表示されます。（再度「DOWN/ロック」キーを押すとカギ アイコン  は消えます。）
- (2) LCD 画面上にカギ アイコン  が表示された状態で録画を完了すると、そのファイルは緊急ファイルとして緊急（Event）フォルダに記録されますが、保護ファイルにはなっていません。

⚠ 緊急（Event）フォルダ内のファイルが、マイクロ SD カードの指定容量の上限に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。保存したいファイルは「保護」設定するか、こまめにパソコンなどへバックアップを行ってください。フロントカメラ本体でのファイル削除の方法は『4 削除する／保護する』（27 ページ）を参照してください。

2.8 マニュアル録画

- 録画中に「OK」キーを押すと録画を停止します。停止中に再度「OK」キーを押すと録画を開始します。録画の条件や動作は常時録画と同じです。

2.9 駐車監視（動体検出録画）

- ⊗ 動体検出録画は、駐車時など本製品が固定された状態（動かない状態）で使用することを想定しています。走行時は必ず動体検出機能をオフにしてください。
- ⊗ 本機能はフロントカメラ本体に電源が供給されている場合のみ使用可能です。停車中（エンジンがオンの時）にご利用いただくか、弊社別売の駐車監視ケーブルをご使用ください。

- (1) 動画モードメニューの「動体検出」をオンにし、「動画モード」にすると動体検出機能が有効になります。本機録画範囲内の動体を検知すると録画が開始され、設定した時間動体が検知されなければ自動的に録画を停止します。（30 ページ参照）

(2) 動体検出の設定内容は下記のとおりです。

[動体検出の設定]

項目	説明
オフ	動体検出録画を行いません。
オン	物体が動くと録画を開始します。

[動体検出録画時間の設定]

項目	説明
5 秒	動体検出で録画を開始し、5 秒間検出されなければ停止します。
10 秒	動体検出で録画を開始し、10 秒間検出されなければ停止します。
30 秒	動体検出で録画を開始し、30 秒間検出されなければ停止します。
1 分	動体検出で録画を開始し、1 分間検出されなければ停止します。

- ⚠ 本機能は電源オンの間は有効ですが、電源をオフにすると自動的に無効になります。
- ⚠ 動体検出録画で録画したファイルは Normal フォルダに格納されます。
- ⚠ 動体検出録画中に衝撃が検出されると、録画は緊急ファイルとして緊急（Event）フォルダに保存されます。

2.10 プライバシーオート録音

- 各常時録画中は音声録音を行わず、衝撃を検知した場合に音声録音を行う機能です。衝撃を検知した時点から音声録音が始まり 1 ファイル録画完了まで録音されます。次の録画では再び音声録音は行わない状態に戻ります。（ファイルは緊急（Event）フォルダに入ります。）この機能は、設定を「オート」にすることで、機能が有効になります。初期設定は「オート」です。（29 ページ参照）
 - 動画モード画面の状態で、「UP/マイク」キーを押してください。押すたびに録音をオン、オフ、オートに変更することができます。動画モードメニューからも同じ変更ができます。
- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押しメニュー画面の「動画モード」を選択し「OK」キーを押します。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）
 - (2) 「UP/マイク」キーと「DOWN」キーで「音声記録」を選択し、「オート」の表示ができるまで「OK」キーを複数回押してください。「オート」を選択することで本機能が有効になります。

⚠ 本機能を使用したくない場合は「オン」または「オフ」を選択してください。

項目	説明
オン	録画中は常に音声録音を行います。
オフ	録画中は常に音声録音を行いません。
オート	常時録画では音声録音を行わず、手動保護や衝撃を検出すると自動的に音声録音を行います。

- (3) 「メニュー」キーを押すと「動画モード」に戻ります。

⚠ 衝撃検出する前の音声は録音されません。衝撃を検出し LCD 画面上にカギ アイコン  が表示されている間、音声を録音します。

3 再生する

3.1 本製品で再生する

- (1) 録画停止中に「モード」キーを押し「再生モード」に表示を切り替えてください。もう一度押すと「動画モード」に表示を戻すことができます。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）
- (2) 「再生モード」にすると、保存ファイルがサムネイル表示されます。
- (3) 再生したいファイルを「UP/マイク」キー、「DOWN/ロック」キーで選択します。
- (4) 「OK」キーを押すとファイルが再生され、もう一度押すと一時停止になり、「OK」キーを押す度に再生と一時停止を繰り返します。
- (5) 再生中に「UP/マイク」キーを押すと再生速度の変更ができます。「UP/マイク」キーを押す度に2倍速/4倍速/8倍速に切り替わります。また、再生中に「DOWN/ロック」キーを押すと同様に逆再生ができます。

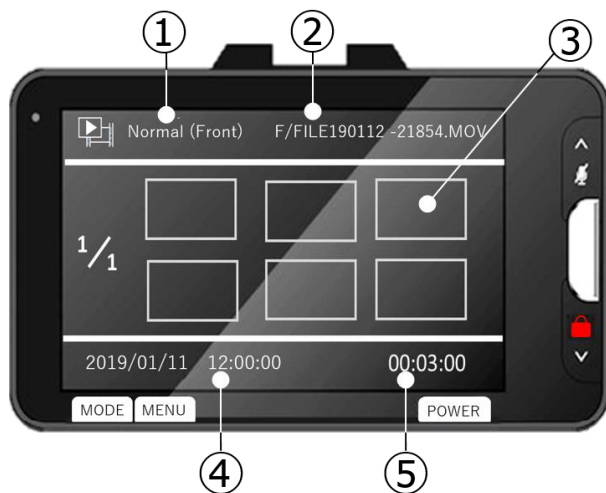
3.2 再生したいフォルダを変更する

- (1) 「再生モード」中に「MENU」キーを押し、再生モードメニューを表示します。
- (2) 再生モードメニューから、再生フォルダを選択してください。
- (3) 再生フォルダを選択し、「OK」キーを押すと表示されるフォルダ名が変更されます。その都度、「OK」キーを押すと下記4種類のフォルダを順番に変更する事ができます。
「ノーマル（フロント）」「ノーマル（リア）」「緊急（フロント）」「緊急（リア）」
- (4) 任意の再生フォルダを選択し、「メニュー」キーを押すことで選択したフォルダが表示された「再生モード」に戻ります。

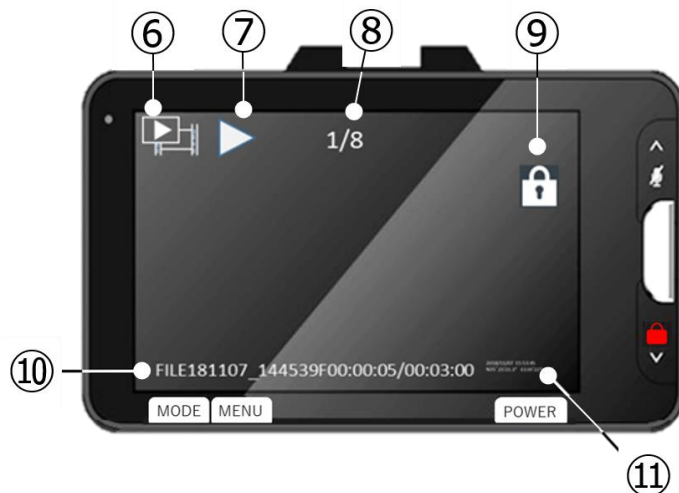


3.3 再生モード画面表示

[再生モード画面]



[再生画面]



番号	表示名	説明
①	再生フォルダ名	表示中の録画ファイルが保存されているフォルダ名です。
②	録画ファイル名	選択中の録画ファイル名を表示します。
③	サムネイル画像	画面中に最大 6 つのサムネイル画像が表示されます。
④	録画日時	選択中の録画日時を表示します。
⑤	録画時間	録画時間の長さを表示します。
⑥	再生モード アイコン	「再生モード」であることを示します。
⑦	再生 アイコン	再生 ▷と 停止 ▷ です。
⑧	ファイル数	1/N N=ファイル数です。
⑨	カギ アイコン	緊急ファイルであることを示しています。
⑩	ファイル名 時間表示	ファイル名+経過時間+録画時間が表示されます。
⑪	タイムスタンプ、GPS データ	年月日と緯度、経度の表示です。

3.4 パソコンでの再生（ビューアーソフトでの再生）

本製品で撮影した映像は、マイクロ SD カードを介してパソコン用のビューアーソフト「GVPlayer」で再生することができます。ビューアーソフトと取扱説明書は下記（8）の弊社 Web サイトからダウンロードしてください。ダウンロードしたソフトを解凍後、画面の指示に従ってインストールしてください。対応 OS は Windows7/8/8.1/10 です。Mac OS には対応していません。

- (1) 本製品の電源がオフであることを確認し、マイクロ SD カードを取り出します。
- (2) マイクロ SD カードを、パソコンのマイクロ SD カードスロットに挿入します。パソコンのスロットが SD カードスロットの場合は付属の SD カード変換アダプタを使用してください。
- (3) パソコンにマイクロ SD カードスロットも SD カードスロットもない場合は、市販のカードリーダーなどを使用してください。
- (4) パソコンでマイクロ SD カードが接続されているドライブをダブルクリックします。
- (5) Normal フォルダの下に F と R フォルダがあります。各フォルダに保存されるファイルの種類については次ページの「マイクロ SD カードのフォルダと保存ファイル例」をご参照ください。
- (6) 再生したいフォルダを開いてください。
- (7) 再生したいファイルを選択し、パソコンにインストールした GVPlayer で再生してください。
- (8) ビューアーソフト(GVPlayer) と取扱説明書のダウンロード先
弊社 Web サイトから OWL-DR802G-2C の商品ページをご確認ください。

<https://www.owltech.co.jp/>

⚠ ビューアーソフト「GVPlayer」は予告なく変更されることがあります。詳細は弊社 Web サイトを参照してください。

⚠ 専用ビューアーソフト以外の再生ソフトでは正常に再生ができない場合があります。

マイクロ SD カードのフォルダと保存ファイル例

ルートフォルダ	フォルダ名	保存ファイルの種類	保存ファイルの例
Normal	F	■ フロントカメラ ・ 常時録画ファイル ・ 動体検出時の録画ファイル	FILE181107-113228F.MOV FILE181107-113528F.MOV
	R	■ リアカメラ ・ 常時録画ファイル ・ 動体検出時の録画ファイル	FILE181107-113228R.MOV FILE181107-113528R.MOV
Event	F	■ フロントカメラ ・ 緊急録画ファイル ・ 手動設定緊急録画ファイル	EMER181107-123228F.MOV EMER181107-133528F.MOV
	R	■ リアカメラ ・ 緊急録画ファイル ・ 手動設定緊急録画ファイル	EMER181107-123228R.MOV EMER181107-133528R.MOV

ファイル名詳細（上記保存ファイルの例）

ファイル名	FILE/EMER	181107	113228	F/R	MOV
説明	通常/緊急	年月日	11:32:28 (録画開始日時)	フロント/リア	動画種別

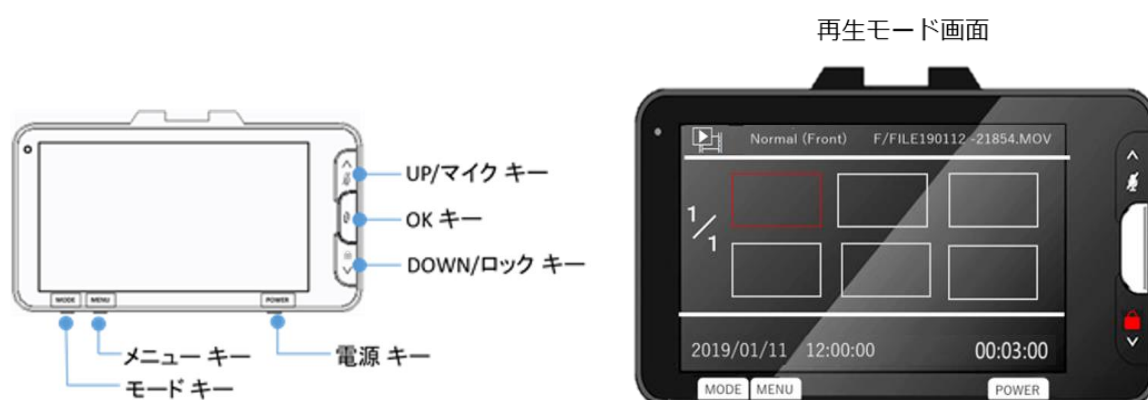
⚠ マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ずフロントカメラ本体の電源をオフにしてから行ってください。電源を入れたまま行くとマイクロ SD カードの破損やデータ消失、本製品の故障が発生する場合があります。

4 削除する／保護する

4.1 ファイルの削除

ファイルの削除は、再生モードメニューから行うことができます。保護されているファイルを削除する場合は、先にファイルの保護を解除する必要があります。『4.2 ファイルの保護／保護解除』（28 ページ）を参照してください。緊急（Event）フォルダのファイルを削除する場合は、メニューの「再生フォルダ」で「緊急」を選択してください。初期値ではノーマル（Normal）フォルダに設定されています。

- (1) 録画停止中に「モード」キーを押すと「再生モード」画面が表示されます。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）ファイルがサムネイル表示（一覧表示）され、赤枠で囲まれたファイルが以降の操作（削除）の対象になります。
- (2) 「UP/マイク」キー、「DOWN/ロック」キーで削除するファイルを選んでください。



- (3) 任意ファイルを選択し、「メニュー」キーを押すと「再生モードメニュー」が表示されます。



項目	説明
一つを削除	選択中（赤枠）のファイルを削除します。
全て削除	保護されていない全てのファイルを削除します。

- 1 ファイル毎に削除するか、全てのファイルを削除するか選択できます。
 - 保護されているファイルを削除する場合は、保護を解除してから削除してください。
- (4) 「UP/マイク」キーと「DOWN/ロック」キーで「一つ削除」を選択し、「OK」キーで決定してください。

4.2 ファイルの保護／保護解除

録画されたファイルを手動で保護することができます。保護されたファイルを削除する場合は、保護を解除する必要があります。ファイルの保護／保護解除は、再生モードメニューから行うことができます。緊急（Event）フォルダ内のファイルを保護（保護解除）する場合は、「再生フォルダ」で「緊急」を選択してください。初期値ではノーマル（Normal）フォルダに設定されています。

- (1) 録画停止中に「モード」キーを押すと「再生モード」画面が表示されます。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）ファイルがサムネイル表示（一覧表示）され、赤枠で囲まれたファイルが以降の操作（保護/保護解除）の対象になります。
- (2) 「UP/マイク」キー、「DOWN/ロック」キーで保護（保護解除）するファイルを選んでください。



- (3) ファイルを選択し、「メニュー」キーを押すと「再生モードメニュー」が表示されます。



項目	説明
一つ保護	選択中のファイルを保護します。
一つ保護解除	選択中のファイルの保護を解除します。

- (4) 「UP/マイク」キーと「DOWN/ロック」キーで「一つ保護」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (5) 保護されたファイルにはカギ アイコン  が付き、保護状態であることを示します。

⚠ 1 ファイル毎に保護または保護解除を行ってください。

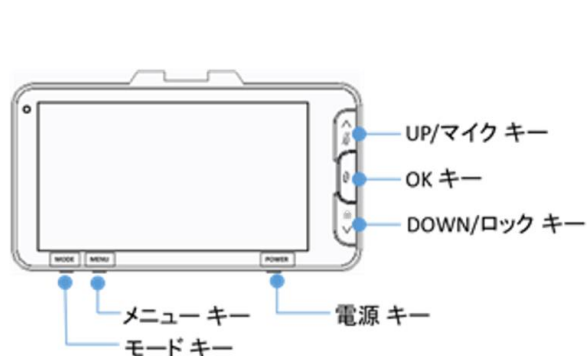
⚠ このファイル操作は、リアカメラで撮影された録画ファイルも同時に保護されます。

5 設定を変更する

5.1 動画モードメニュー

「動画モード」に関わる設定を変更できます。

- (1) 録画を停止して「メニュー」キーを押すと「動画モード」が表示されます。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）
- (2) 「動画モード」を選択し、「OK」キーで決定してください。
- (3) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP/マイク」キーと「DOWN/ロック」キーで詳細項目を選択し、「OK」キーで決定してください。



[動画モードメニュー 1/2]



[動画モードメニュー 2/2]



(4) 「動画モードメニュー」設定項目

- 記録単位【初期設定：3分】

録画時間単位を設定します。設定した時間が保存される1ファイルの長さになります。マイクロSDカードの容量が一杯になると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。

項目	説明
1分	1分単位のループ録画を行います。
3分	3分単位のループ録画を行います。
5分	5分単位のループ録画を行います。

- 音声記録【初期設定：オート】

録画と同時に音声を録音することができます。

項目	説明
オン	録画中は常に音声記録を行います。
オフ	録画中は常に音声記録を行いません。
オート	録音中に緊急や保護録画が始まるタイミングで録音が開始します。

⚠ 「UP/マイク」キーに連動して設定が変わります。

- 動体検出【初期設定：オフ】

フロントカメラの録画範囲内で物体が動いたときに自動で録画を開始します。

「2.9 駐車監視（動体検出録画）」を参照してください。

項目	説明
オフ	動体検出録画を行いません。
オン	物体が動くと録画を開始します。

⊖ 駐車中を想定しています。移動中は必ずオフに設定してください。

- 動体検出録画時間【初期設定：10秒】

動体検出時の録画時間を設定します。

項目	説明
5秒	動体検出で録画を開始し、5秒間検出されなければ停止します。
10秒	動体検出で録画を開始し、10秒間検出されなければ停止します。
30秒	動体検出で録画を開始し、30秒間検出されなければ停止します。
1分	動体検出で録画を開始し、1分間検出されなければ停止します。

- リア映像を上下反転【初期設定：オフ】

リアカメラの表示と録画ファイルの映像を上下反転することができます。

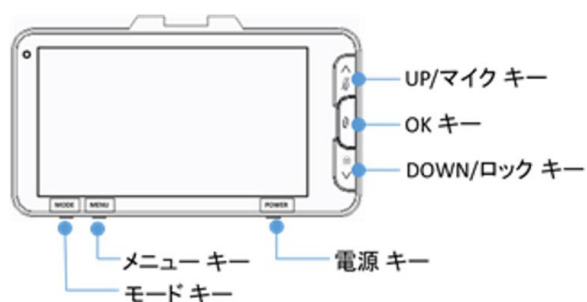
リアカメラの取付位置や向きを、お車に合わせ工夫したい場合にお使いください。

項目	説明
オフ	リアカメラの映像を上下反転しません。
オン	リアカメラの映像を上下反転します。

5.2 共通設定メニュー

共通の設定を変更できます。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「動画モード」メニューが表示されます。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）
- (2) 「UP/マイク」キーか「DOWN/ロック」キーを押して「共通設定」メニューを選んでください。
- (3) 「UP/マイク」キーと「DOWN/ロック」キーで変更する項目を選択し、「OK」キーで決定してください。変更する項目の詳細が表示されます。



[共通設定メニュー 1/4]



[共通設定メニュー 2/4]



[共通設定メニュー 3/4]



[共通設定メニュー 4/4]



(4) 「共通設定メニュー」設定項目

- ビープ音【初期設定：オン】

キー操作時の音を設定します。

項目	説明
オフ	キー操作や動作に連動して音を鳴らしません。
オン	キー操作や動作に連動して音が鳴ります。

- 日付/時刻

「1.12 日時の設定」を参考にして設定してください。

- ドライバ情報【初期設定：未設定】

自動車のナンバープレート番号など、数字とアルファベットを最大 9 桁設定できます。設定した番号は記録した映像にスタンプとして重ねて記録でき、記録データの管理などに活用できます。

「UP/マイク」キーと「DOWN/ロック」キーで文字選択し、「OK」キーで決定してください。スタンプのオン・オフは、「日付スタンプ」と連動しています。「日付スタンプ」がオン（初期設定）の場合に映像にスタンプとして記録されます。未設定（空欄）のままであれば、日付スタンプがオンでも非表示の状態となります。

- 日付形式【初期設定：年月日】

LCD（＝液晶）画面の日付表示を選択できます。

項目	説明
年月日	日付表示を“年月日”の順序で表示します。
月日年	日付表示を“月日年”の順序で表示します。
日月年	日付表示を“日月年”の順序で表示します。

- 日付スタンプ【初期設定：オン】

「日付形式」に従った日付と時刻を映像に重ねて記録します。

「ドライバ情報」を登録した場合は、「日付スタンプ」と連動して記録されます。

項目	説明
オフ	日付と時刻を映像に重ねて記録しません。
オン	日付と時刻を映像に重ねて記録します。

- GPS スタンプ【初期設定：オン】

撮影時に GPS で受信した位置情報を映像に重ねて記録します。

GPS アンテナを接続するとメニューが表示されます。

項目	説明
オフ	GPS 情報を映像に重ねて記録しません。
オン	GPS 情報を映像に重ねて記録します。

- LCD 省電力【初期設定：オフ】

電源がオンで指定時間の間無操作状態が続くと LCD（＝液晶）画面が省電力モードに切り替わります。録画中画面は消灯しますが、録画は継続されます。（録画中はインジケータが赤色で点滅します。）

LCD 省電力モードから通常画面に復帰させるには、いずれかのキーを押します。

動体検出機能がオンで消灯中に動体を検出すると LCD 画面が復帰します。

項目	説明
オフ	LCD 省電力モードに切り替えません。
1 分	無操作状態が 1 分続くと LCD 省電力モードに切り替わります。
3 分	無操作状態が 3 分続くと LCD 省電力モードに切り替わります。

- G センサー感度【初期設定：中】

一定以上の衝撃を検知すると、常時録画とは異なる緊急(Event) フォルダに映像が記録されます。

項目	説明
オフ	衝撃を検知しません。
低	大きな衝撃が起こると検知します。
中	中規模の衝撃が起こると検知します。
高	軽微な衝撃でも検知します。

⚠ 事前にテストを行い、希望の感度を設定してください。

- 設定の初期化【初期設定：いいえ】

本製品の設定内容を初期状態に戻します。（データは削除されません。）

項目	説明
いいえ	初期設定に戻しません。
はい	初期設定に戻します。

- SD 初期化【初期設定：いいえ】

マイクロ SD カードのフォーマットを行います。（全てのデータが削除されます。）

項目	説明
いいえ	SD カードをフォーマットしません。
はい	SD カードをフォーマットします。

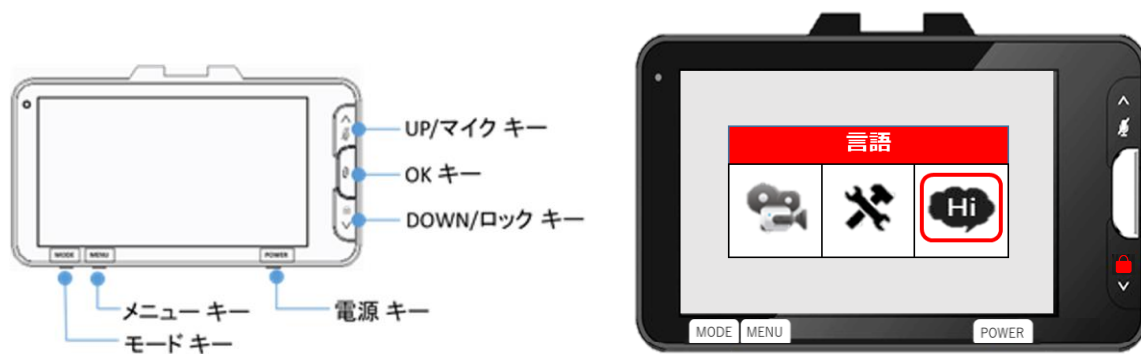
- FW バージョン

現在のファームウェアのバージョンを表示します。

5.3 言語メニュー

言語の設定を変更できます。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「動画モード」メニューが表示されます。（録画中の場合は「OK」キーを押して録画を停止してください。）
- (2) 「UP/マイク」キーか「DOWN/ロック」キーを押して「言語」メニューを選んでください。
- (3) 「UP/マイク」キーと「DOWN/ロック」キーで変更する項目を選択し、「OK」キーで決定してください。変更する項目の詳細が表示されます。



[言語メニュー]



- (4) 「言語メニュー」設定項目

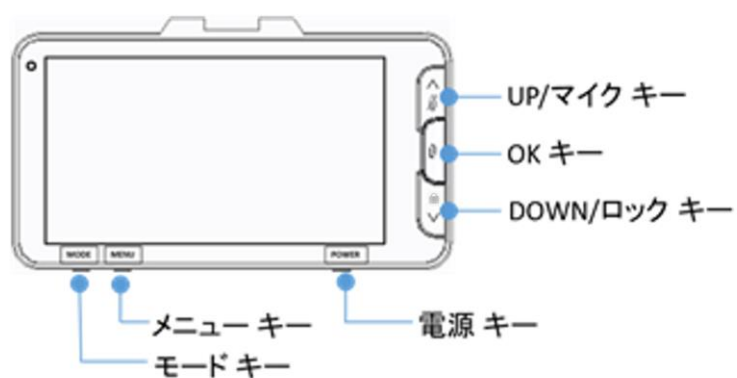
- English
言語設定を英語に設定します。
- 日本語【初期設定：オン】
言語設定を日本語に設定します。

6 キー割当て

モード	キー割当て					
	メニュー	電源※ ¹	モード	OK	UP/マイク※ ²	DOWN/ロック
■動画モード						
録画中	—	LCD 画面オフ (いずれかの キーでオン)	—	録画停止	マイクオン/ オフ/オート	ファイル保護/ 保護解除
停止中	メニュー 表示/非表示	LCD 画面オフ (いずれかの キーでオン)	モード切替	マニュアル録 画開始	—	—
■再生モード						
画面表示	メニュー 表示/非表示	—	モード切替	動画再生/ 一時停止	前のファイ ルに移動	次のファイ ルに移動

※1 「電源」キーは状態にかかわらず、3 秒長押しで電源をオフします。

※2 動画モードで「UP/マイク」キーを 3 秒長押しすると、リアカメラ表示が切り替わります。



7 故障かなと思ったら

7.1 電源がオンにならない

- シガープラグコードは本製品付属のものですか？
- シガープラグコードは正しくフロントカメラとシガーソケットに接続されていますか？
- シガーソケットのヒューズが切れていませんか？（車側のヒューズを確認してください。）

7.2 録画を開始しない

- 電源は供給されていますか？
- マイクロ SD カードは正しく挿入されていますか？
- マイクロ SD カードに十分な空き容量があるか確認してください。
- SDHC/SDXC 規格に適合した Class10 以上の高速マイクロ SD カードを使用してください。
- マイクロ SD カードをフォーマットしてください。

7.3 キーが反応しない、録画が勝手に停止する等、動作がおかしい

- フロントカメラ本体をリセットしてください。（「リセット」キーを押してください。）
- マイクロ SD カードに不良セクタが発生している、または速度が遅いマイクロ SD カードを使用していると動作が止まる場合があります。一度マイクロ SD カードをパソコン上でフルフォーマットするか、転送速度の速いマイクロ SD カードをご使用ください。

7.4 メモリーエラーが出る

- SDHC/SDXC 規格に適合した Class10 以上の高速マイクロ SD カードを使用してください。
- 使用できるメモリーサイズは 128GB までです。メモリーサイズをご確認ください。
- マイクロ SD カードをフォーマットしてください。（必ず本製品でフォーマットしてください。）
本製品は FAT32 形式以外のファイルシステムに対応していません。パソコンで exFAT 形式のフォーマットを行った場合は、再度本製品の「SD 初期化」を選択してフォーマットをしてください。
- マイクロ SD カードを挿入しても、「SD カードを挿入してください」等の表示が消えない場合は、マイクロ SD カードに異常（内部のエラー、または端子面の汚れや劣化等）が起きている可能性があります。マイクロ SD カードのクリーニング、または本製品やパソコン上でフルフォーマットを行っても解決しない場合は、マイクロ SD カードを交換してください。

7.5 常時録画で映像が保存されていない

- ループ録画により 16GB のマイクロ SD カードでは連続撮影約 60 分で上書きされます。
- G センサー感度が「高」に設定されていませんか？ G センサーが衝撃を検出した時のファイルは Event フォルダに保存されます。Event フォルダ内のファイルを確認してください。
- 走行中に動体検出機能がオンになっていると正常に録画されません。走行時は必ずオフにしてください。
- マイクロ SD カードを定期的にフォーマットされていますか？
マイクロ SD カードは消耗品です。使用頻度に合わせ、最低でも 1 カ月に 1 回を目安に点検を行い、本製品が正常に動作しているかの確認や、マイクロ SD カードのフォーマットを行ってください。

7.6 録画した映像がぼやけている

- レンズが汚れや、指紋が付いていないか確認し、汚れていたら柔らかい布でふきとってください。
- 車のウィンドウが汚れていないか、またはワイパーの可動範囲外に本製品が取り付けられていないか確認してください。

7.7 信号待ちのときに常時録画が停止してしまう

- 動体検出がオンになっていませんか？ 走行中は動体検出をオフにしてください。

7.8 地上デジタル放送に影響がでる

- 取付け位置を地デジアンテナからなるべく離してください。

7.9 パソコンで映像が再生できない。またはスムーズに再生できない

- パソコンでの再生時には再生ソフトの「GVPlayer」をお使いください。弊社 Web ページの商品ページからダウンロードいただけます。ダウンロードの詳細は「3.3 ビューアーソフトでの再生」（24 ページ）をご参照ください。他のビューアーソフトをご使用の際には、ご使用のパソコンが Quick Time 形式のビデオを再生できる仕様であるかご確認ください。
- 他のビューアーソフトを使用している場合、別ソフトへと変更し、再生をお試しください。
- マイクロ SD カードのエラー、または不良の可能性があります。動画ファイルをパソコンなどにコピーし、パソコン本体上から動画ファイルを選択し再生を行ってください。

7.10 日時がリセットされてしまう

- GPS アンテナが正しくフロントカメラ本体に接続されていますか？
- GPS は正しく受信していますか？（GPS が正しく受信されるまで電源オンから約 1 分かかります。）
- 長期間ご使用されなかった場合など、内蔵バッテリーが空になり日時がリセットされることがあります。その際は電源を供給して再度設定してください。日付がリセットされる場合は 2 時間以上充電してください。
- 短時間のご使用が多い場合は内蔵バッテリーが充電不足になり日時がリセットされる場合があります。その際は、一週間に一度を目安に 2 時間以上充電してください。

7.11 LCD 画面がしばらくすると消えてしまう

- LCD 省電力機能が有効の場合、録画中に設定時間が経過すると画面が消えます。LCD 画面を常に表示したい場合は、LCD 省電力機能をオフにしてください。

7.12 リアカメラが表示されない

- リアカメラのコードは正しくフロントカメラ本体に接続されていますか？
- リアカメラの画面表示が「フロントカメラのみ」になっていませんか？「UP/マイク」キー長押しで「左上にオーバーレイ」、「フロントカメラのみ」、「リアカメラのみ」に切り替わります。

製品名		OWL-DR802G-2C	
カメラ		フロントカメラ	リアカメラ
	映像素子	1/2.9 型 CMOS センサー	1/3 型 CMOS センサー
	画素数	200 万画素	100 万画素
	レンズ F 値	F1.8	F1.8
	視野角	対角 135 度	対角 130 度
WDR		あり (常時 ON)	なし
外形寸法 (W × D × H)		約 80 × 30 × 46mm	約 56 × 31 × 28 mm
重量		約 55g	約 250g (8m コードを含む)
記録解像度		1920 × 1080p (FHD)	1280 × 720p (HD)
フレームレート		27.5fps	27.5fps
記録フォーマット		H.264 MOV	
対応記録メディア		SDHC/SDXC 規格 マイクロ SD カード 128GB まで対応 (Class10 以上) / マイクロ SD カード (16GB) 付属	
LCD		2.7 インチ LCD	
フロントカメラ電源入力		マイクロ USB (5V/ 1A)	
リアカメラ		コード長約 8m、4 極プラグ (Φ2.5mm)	
GPS アンテナ		外付けタイプ、コード長約 1.8m、4 極プラグ (Φ2.5mm)	
シガープラグコード		入力電圧 : 12V / 24V 入力 (マイナスアース車) 出力電圧 : 5V 1A (マイクロ USB) コード長 : 約 4m	
ブラケット		テープ貼付けタイプ	
内蔵バッテリー		リチウムイオンバッテリー	
動作温度範囲		-10℃ ~ 60℃	
その他		LED 信号機消滅問題対策済み 地デジ妨害対策実施済み	

マイクロ SD カードの容量に対する録画時間の目安を示します。

	記録サイズ	16GB	32GB	64GB	128GB
フロント	1920 x 1080p	約 60 分	約 120 分	約 280 分	約 560 分
リア	1280 x 720p				

⚠ 記録時間は目安であり保証するものではありません。常時録画は、上記時間 (目安) の約 50%を超えると古いファイルから上書きし、ループ録画を行います。

1. 保証について

- 保証書は記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日より1年間です。
- 本製品の保証は、日本国内での使用に限ります。
- 開梱直後に故障または不具合が発生した場合は、販売店捺印のある本保証書か、それに代わるレシート、または納品書等をご用意の上、販売店または弊社サポートセンターへお問い合わせください。
- 以下保証規定に従った内容で無償修理または交換いたします。保証期間経過後の修理に関しましては有償修理または有償交換となります。

2. 保証規定

この保証書は正しい使用方法に従った上で起きた故障で、保証期間内であることが認められた場合に限り、無償で修理または交換を保証するものです。また適用範囲はフロントカメラとリアカメラのみであり、シガープラグコード、マイクロSDカードなどの付属品は保証の対象外となります。保証期間内であっても次の各項に該当する場合は、保証対象外または有償対応となります。

- 使用上又は取付け時の誤り及び当社以外での修理、調整、改造による故障及び損傷。
- ご購入後の落下、不適当な取付けなど、自損や不当な取り扱いによる故障及び損傷。
- 火災・地震・落雷・水害・その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- 故障の原因が本製品以外（他の電子機器など）にあって、それを点検修理した場合。
- 本保証書のご提示が無い場合及び本保証書に購入年月日・お客様名・販売店名の記載が無い場合。
- 本保証書に記入された事項を許可無く書き換えた場合。
- 機能上問題の無い小傷、液晶画面のドット抜け、及び箱などの軽微な傷や潰れ等。
- 製品を使用できなかった事の対価、取外しや販売店への搬送など直接或いは間接的に発生する手間等の対価。
- 高温・高湿度環境下での使用及び、ほこりやごみの付着・虫などの侵入を原因とする故障など。
- オークション、中古販売及び譲渡等により本製品を入手した場合など。

品名/型番		ドライブレコーダー / OWL-DR802G-2C	
ご購入年月日		年 月 日	
保証期間		ご購入日より1年間	
保証対象		※※取付け・取外し作業にかかる燃料・部品代・工賃等は保証対象外※※	
お客様	ご氏名	保証書無効	
	ご住所		
	電話番号		
販売店	販売店印・レシート添付欄	保証書無効	
		印	

* 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

* 本書は、本記載内容で無償修理・交換をさせていただくことをお約束するものです。本保証書にご購入店の捺印が無い場合は購入レシート等で代用可能ですので、必ずレシートは本保証書と一緒に大切に保管してください。

株式会社オウルテック

〒243-0422 神奈川県海老名市中新田5-24-1

webサイト <https://www.owltech.co.jp>

web 内のメールフォームよりお問い合わせください。
保証適用の際は購入履歴が必要となります。

☎046-236-3522 平日10時～12時/13時～18時

F-T190093-03